

平成18年度 野外活動センターの管理運営に対する評価票

所管課：教育委員会事務局社会教育課

評価対象期間：平成18年4月1日～平成19年3月31日

1 指定管理者

指定管理者	特定非営利活動法人 レクリエーションアクティブなわて
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日(5年間)
施設概要	市民が余暇時間の活用として日常生活から離れ、豊かな自然環境の中で、森林浴や日光浴などを通じて、心身のリフレッシュを図るとともに、新たな仲間づくりやコミュニティづくりを進めることを目的とする。
指定管理料	12,368千円(5年間 59,730千円)

2 管理運営の内容

項目	18年度の状況
運営状況	<p>平等利用のための手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体障がい者スタッフを雇用し、障がい者等が利用しやすい環境を整備 ・自主事業の展開 ・主な新規事業として、山小屋事業、山遊亭事業、なわてホテル探検隊事業など5つの事業を展開 ・野外活動相談業務を行えるよう有資格スタッフを配置 ・利用者自身が施設の管理運営に主体的に関わる仕組みとして期待されていた「利用者協議会」については、取組みに至っていない。 <p>備品貸出業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有料備品について利用方法等の説明書を作成し、貸出しを実施 <p>施設の情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度の写真を使用し、見やすくわかりやすいリーフレットを作成 ・情報誌7810(なわて)キャンプ場を約2ヶ月に1回発行 <p>安全確保対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防署が実施する普通救命講習を職員が受講
維持管理状況	<p>保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が基本的実施 <p>清掃業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃は職員の通常業務に含み、日常的に実施 <p>環境への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺林の間伐事業を行い、雑木林を再生するとともに、間伐材をクラフト体験等の事業に再利用 ・廃棄物については分別排出を職員が行い、利用者にも呼びかけを実施
利用状況	<p>前年度と比較し、利用者数は全体で3割以上の増加となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日帰り 3,359人(19.3%増) ・宿泊 371人(20.5%増) ・イベント 309人(新規実施) ・自主事業 503人(新規事業) ・天体観測 177人(46.0%減) <p>天体観測については、移動天体観測会の開催依頼がなかったため、大幅な減少となった。</p>

収支状況	収支報告書では 423,117 円の黒字決算になっているが、修繕料の未執行額 397,770 円を市に返納したため、最終決算額は 25,347 円の黒字決算となった。
------	---

3 利用者へのアンケート調査

	18年度の状況
調査の実施内容	対象：施設利用団体 調査期間：平成 19 年 2 月～ 調査方法：郵送によるアンケート送付 回答件数：150 件のうち 25 件 アンケートの回収率に課題がある。新たな方法を期待する。
調査の結果	施設利用の感想：「満足」、「やや満足」が 60% スタッフの対応：「満足」、「やや満足」が 84% 事業に対する感想：「満足」、「やや満足」が約 89%
主な苦情・意見等	子どもだけでも参加ができるイベントの実施 施設の場所の案内をもっと鮮明にしてほしい。 イベントの時間が充実している。これからも新しい企画を期待する。

4 施設の評価

管理運営の総合評価	5	4	3	2	1
講 評	<p>計画段階から予定していた 5 つの新規事業の実施などにより、イベント、自主事業の参加者が増加した。また、日帰り、宿泊者数も増加している。その結果、利用者は前年度と比較して、全体で 3 割以上増加するなど、一人でも多くの市民参加を促進するという基本方針は概ね達成していると評価する。また、数多くの事業を行う中で、収支についても効率化が図られている。</p> <p>しかし、一方で、利用者自身が施設の管理運営に関わる仕組みとして予定されていた「利用者協議会」については実施されておらず、情報提供の重要な手段であるホームページが開設には至らなかった。</p> <p>アンケート調査によると、スタッフの対応は概ね良好であるが、一部に利用者とのトラブルが発生し、待遇への課題があった。</p> <p>今後については、本市の指定管理者の中で唯一の NPO 団体であることを活かし、市民団体との連携や市民ニーズをとらえた新たな自主事業の展開が期待される。特に、本施設が豊かな自然環境の中に立地している特性を活かし、地域子ども達が自然とふれあえるキャンプ利用などを促すことが求められる。また、土曜・日曜日だけでなく、平日の利用者を増加させる事業が期待される。</p> <p>さらなる参加者の増加につながるようホームページの立ち上げや情報誌の広範な配布など情報発信に力を注ぐ必要もあると思われる。</p>				

(参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る（非常に満足できる）結果
- 4 計画内容をやや上回る（満足できる）結果
- 3 計画内容どおりの（妥当と判断する）結果
- 2 計画内容をやや下回る（不満が残る）結果
- 1 計画内容を下回る（非常に不満が残る）結果